

「中学校生徒」対象講座



- 7月12日 金 雲南市立木次中学校生徒会（三年生）
- 8月20日 火 出雲市立斐川西中学校・生徒会（三年生）
+新部活キャプテンなど（二年生）
- 8月21日 水 出雲市立大社中学校生徒会（三年生）

今年度、中学校は3校実施できました。期末試験明けや夏休みを使っての実施、貴重な「あそびの時間」を割いての活動です。先生にあつめられ、「人権」なんて難しい講座に「生徒会だから」と嫌々でたと顔にかいある子どももいます。反対に準備から私たちを手伝い、早速関わることを体感している生徒もいます。今様

の子どもたちのようすをみながら北さんの「アフタフ・バーバン」の名前の由来から話しははじまり、いよいよワークにはいりました。

◎一番最初は片手を前でグー、もう片方は胸でパーのワークから。そして1.2.3と指をかえて同じようにしていくワークになります。簡単そうですがやってみるとなかなか出来ませんが、緊張していた生徒から笑い声が出てきます。速度が速くなるとついていけない人もいます。

できるかできないかではなくて、「早くできるか、人よりゆっくりできる」の差。できなかつたら、できないぜとわらってればいよいよ、という言葉に「えっ!」という思いがけないことを言われた感じと「あーっ! そうなんだー」となんだかほっとし笑いが更に広がります。北さんが講師を務める大学で学生が「できない」といった話、「できるできないでしかこれまで判断されていなかったのではないですか」という言葉に、生徒の瞳が大事なものをもらったような顔に変わっていきます。

後でアンケートに書いてもらった、講座で一番心に残った言葉も「できるかできないかではない 早くできるかゆっくりできるかだ」と書いた人たちも今年も幾人かいました。

◎ドンガラドン ◎ふたりでババ抜き

3人組2人組のワーク。ほぐしと一緒に「関わる」ことをまず体感します。ここでも大学生がドンガラドンを順番に・・・といった話がでました。体感してから聞くとその違和感さがよくわかります。どこが違和感?なぜ違和感?自分が感じたことと、マニュアルがあふれている中で育つ現実の中の問題に気がきます。そして関わるってどういうことということが次第に心に落ちていきます、笑い声と正比例して。



◎椅子とり

椅子取りは、学びの大きいワークショップでした。バラバラに座った生徒+北さんの椅子。北さんが「オニ」になり立ち、その空いた椅子に座ろうとします。生徒たちはその空いた椅子に誰かがすわり北さんが座るのを阻止します。北さんは次の空いたところを探し座ろうとし、生徒たちはどうにかしてそれを1分すわらせないようしなくてはなりません。よーい、はじめ! 生徒のあーっという声とともに北さんは



あっという間に座ります。わずか7秒、そして14秒、17秒。なかなか1分はできません。どこでも北さんを座らせまいとして、つい、椅子を引いてしまいました。「僕はとても怖かった。これでは安心してこれをやるという権利が遠のきます」と言う言葉が心に染みいります。

そしてここでシンキングタイム。北さんは部屋から出、生徒たちで方法を考えます。「3人くらいでかわるがわるおんなじとこをくるくるしたらよい」という意見に異論はせず、これをやってみます。30人近くいるのにたった3人しか動きません。見ている27人は傍観者然としているだけです。イスはすぐとられしかも北さんはまたもひっくり返ります。「僕はとても嫌な気持ちでした。しかも他のひとたちはただみているだけ 笑ってるだけで動こうとしなかった。これはいじめと姿と一緒にではないか・・・」という北さんの投げかけに生徒たちの心は揺れて大きく変化していきます。そして、再びのシンキングタイムの後の椅子取りは圧巻でした。全員が他者の動きに気を配り、自分が動きます。そして1分を見事クリアしました。全員大拍手です。3校とも状況は多少違いますが子どもたちの何かが確実に変化した時間でした。子どもは学び生かされていく・・・まわりのおとなも感動で胸がいっぱいになりました。

ワークショップは新聞キャッチにすすみます。人と関わるということ、そして相談、話し合いの大切さ、人に伝えることのむずかしさ、相手にゆだねるキモチ、どうしたら相手も自分も心地よくワークができるか・・・小さかった生徒たちの声もずいぶん大声になってきました。こうしたらうまくとれるよ、ここへ投げて・・・等、ちゃんと自分の言葉で伝えている姿がそれも笑顔で伝えている姿が見られます。

◎要求と権利

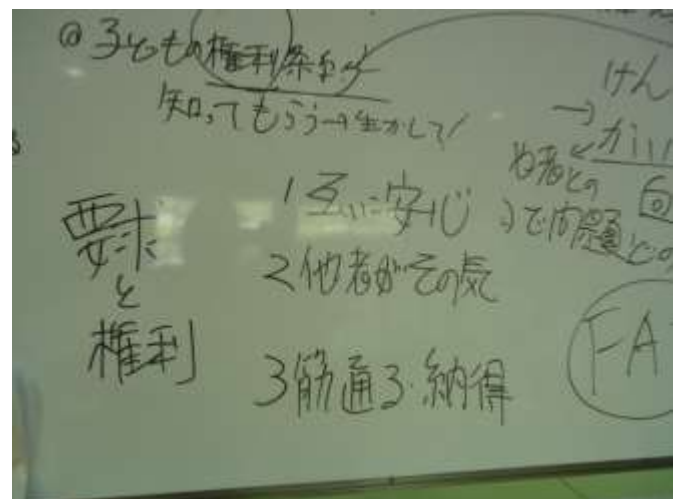
後半は、「権利」についていよいよ学びが始まります。最初は要求と権利。

自分がいま欲しいものを8個紙にかきあげ、となりの人とベストスリーを発表。なぜそれが必要かもみんなの前で話します。「お金」「時間」「能力」「スマホ」「一人部屋」「知識」「学力」「どらえもん」etc・・・。それぞれに理由があります。北さんが事例をあげ「要求」を「権利」にしていくには、「3つのフィルター」が不可欠だと伝えます。

「お互いが安心できる、他者が納得する、道理・筋が通っている」この3つをクリアしていかないかぎり、要求のままでおわっていく・・・

以前北さんが経験した「自由」「広末涼子さんを好きになること」「ピアスを学校にしていきたい」事例をこの3つのフィルターにかけていく話は、リアルさと親近感のある話でもあり、3つのフィルターの意味が分かりやすくなります。

「3つのフィルター」は「今日心に残ったことば」のなかで最も多い言葉として生徒からあげられました。そしてそのことを体感する「人間ファックス」のワークにいどみます。言葉だけで1枚の絵を伝えることのむずかしさ、相手に安心して書いてもらうには・・・、「絵を描く」という単純なワークですがそこにある深い意味を肌で感じています。そして「伝える」という人と関わる体感をここでもたっぷりとします。最初に比べると伝える側も各側も表情がイキイキとしていて、パートナーへの質問も活発で、またそれがたとえうまく伝わらなくても笑いあって「これでもOK」表情になっています。時間はすでに2時間、でも生徒たちの顔はとても輝いています。



◎子どもの権利条約

世界各国からあげられた膨大な意見から40条という究極の条約ができるのに10年という年月と人の手が

かかったという事実に皆が驚いていました。その40条をカードにしたものをまず、どんな条約か皆でみていきます。初めて「子どもの権利条約」を見るという生徒も少なくありません。この40条の中で今、自分たちに必要であるもの、大切なものを3つ、3位・2位・1位と選びます。それも4-5人で意見をいいつつ、選びます。6条、3条、12条、13条、31条、28条・・・生きる権利、意見表明の権利、遊び・余暇の権利、教育の権利、差別されない権利・・・など次々に上がりました。

人は関わりの中で権利を学ぶこと、そして遊びのなかにはその関わりがいっぱいあること、問題解決に向かう基準、それが権利だということ、他者も自分も納得できるような伝えることの大切さ、など最後に北さんから再びまとめのメッセージを心いっばいに受け止めます。

「今の僕たちには北さんが必要です・・・この学びは生徒みんなが学ぶものです、全員でのこの講座を受けたいです」「全部のことが響きました」「明日からに生かしたいです」どこの会場も終わりの挨拶はまだ学びたい、もっと深く知りたいという言葉にあふれていました。



○生徒たちへのアンケートより

「講座で一番印象に残ったことば」

- ・子どもの権利条約（複数回答）
- ・3つのフィルター（複数回答）
- ・①お互い安心 ②他者がその気 ③筋が通っている（複数回答）
- ・権利とは問題をどのように解決していくのかお互いで考えること（複数回答）
- ・要求から権利にするには3つのフィルターを通してから（複数回答）
- ・身近なところに権利あり、すべての人に与えられる
- ・権利は全員が持っている
- ・関わりの中に権利あり（複数回答）
- ・自由に意見を言える場がある
- ・権利（複数回答）
- ・早く出来る子と遅くできる子の違いだけ（複数回答）
- ・できない人はいない（複数回答）
- ・すぐ決めつけず、どうすればよいか考える
- ・子どもにも権利がある（複数回答）
- ・校則を創るときは自分もいれてほしい
- ・考え続ける
- ・それはおとなの責任です（複数回答）
- ・おとなは子どもの声に耳を傾けていない。
- ・子どもの供という漢字をつかわずに（子どもと）書いているところ
- ・問題を解決するための方法はたくさんある
- ・問題をどのように解決していくか（複数回答）
- ・解決に向かう基準！！
- ・要求と権利
- ・権利とは他者との問題を解決する基準（複数回答）
- ・権利に条件はない

- ・(安全) 安心
- ・「この人には生きる権利があってこの人にはない」ということは絶対はない
- ・北さんのすべてのことばです。(複数回答)
- ・すべて私たちに必要な話で心に残りました
- ・アフタフ・バーバン (注:とびらよ ひらけの意 複数回答)

「本日の講座の感想」

・北さんのお話を聞くなかで一つ一つのゲームに意図がありおもしろかったです。子どもの権利条約というものがあるのを知って、その内容一つ一つがあたり前のように出来ていないことがあって、特に2条の差別しないなどのことはしないようにしたいと思いました。

(男子)

・今日のワークショップに参加して、自分が思っていたより身近なところに権利があるというのがわかりました。またなにか問題が起きた時は、投げ出すのではなく、考え続けなければいけないということがわかりました。今日のワークショップに参加してよかったと思いました。(女子)

・おとなにいわれたことにただ従うのではなく、自分で考えて「どのように」をいつも持っていることが大切だと思いました。そうすることで、権利が守られていることがわかりました。また伝える力がとても大切なことがわかりました。伝える力があることで要求も言えるし、自分の意見も言えるからです。そういう力をこれからも大切にしたいと思いました。(女子)

・子どもの権利が40条までありびっくりしました。子どもの要求は3つのフィルターによって成立することもわかりました。北さんのゲームや話されたことは楽しかったしとても勇気をもらいました。(男子)

・私は今日のゲームなどの活動を通して、人と自分にとって良い方法とはなにか、考え続けることが大切なんだなと思いました。今受験する高校について母と協議中ですが、今やっている部活を続けることを反対されているので今日学んだことを活かしてみようと思います。(女子)

・権利ということをあまり深く考えたことがなかったので、今日のワークショップで深く考えることができました。今日学んだことをこれからの学校生活に活かしたいです(女子)

・自分勝手な行動でまわりを不愉快な気持ちにになってしまうことがわかったので、相手を安心させ、その気にさせて、納得させることが大切だとわかりました。これからの行動を皆が納得できる自分勝手でない行動に変えていきたいです。(男子)

・最初なにをするのかとにかく不安でした。柔らかくとても楽しい雰囲気です。ゲームがとても楽しくて久しぶりにみんな協力して取り組めてよかったです。子どもに権利があるのを初めて知りました。日本が全部守れるような感じになったらいいなと思いました。(女子)

・参加する前は、話を聞くだけかと思っていたけど何人かでペアになって遊んだり全員で協力してあそんだりする中で学ぶことができとても楽しく学べました。今までなにか問題が起こった時に自分の考えを押しとおそうとしたり、みんなの意見をあまり聞いたりしなかったので、みんなの権利を大切にしたいと思いました。(女子)

・子どもの権利について、考えて、世界は、日本は、子どものために色々してくれているということがわかった。自殺する子どもも増えてきているなか、今後は僕たちが次の世代に伝えていきたいと思います。(男子)

・ゲームではひとつの遊びが権利に関わることで、楽しかった上にとっても大切なことを学びました。子どもの権利条約というのは今日初めてきいたことでしたが、1条から40条まで全部大事なことで、私たち子どもがちゃんと知っておかないといけないことです。自分が印象に残っている言葉はたくさんあったので、ずーっと覚えておきたいです。(女子)

・北島さんのお話は、とてもわかりやすく、心に響きました。ゲームなどをして、権利について少しわかった気がします。子どもの権利条約をこれからは、自分たちが人に教えられるようになりたいです。今日学んだことを学校生活に活かしていきたいです。今日はこのような時間をいただいてありがとうございます。(男子)

・子どものための条約は今日初めて知りましたが、私たちに必要だと思うことがたくさんありました。いじめやケンカなど問題が起こることはこれからあると思いますが、今日のことをいかして解決していけたらと思います。(女子)

・今日は楽しみながらワークショップに参加させていただきました。子どもの権利が40条もあるとは知らなかったし、それが守られていないと書いてある内容を読んで実感しました。これから子どもにいじめをするな！とかいうだけでなく、おとなも子どもも皆で話し合う場がもっと設けられると良いと思います(女子)

・いろいろしたゲームのなかで、人権ということについて、たのしく学ぶことが出来ました。また自分の意見を先生にも伝えることが大切なんだとわかることができてよかったです。(男性)

・今日はゲームをしてそのなかでどのようにしたらうまくいくか、普段考えないことを友だちと考え、問題の解決に向けて話し合うことができました。権利は普段意識しないけど今日参加してとっても身近なことだとわかりました。(男子)

・子どもの権利条約をみて、当たり前のように暮らしているけれど、この条約のおかげなんだなと思いました。(女子)

・私はリーダーをしていく上で、いろんな面で悩むことがありました。私は仕切るタイプではなくて、自分が正しいと思ったことを実行してしまうので、みんなの目線が痛いこともありました。私は自分のペースで進む権利があることを忘れずにしていきたいです。(女子)

・いろいろな遊びの中で、どのようにしたらいいのか考える機会がたくさんあり、そこで子どもは成長していくということがわかりました。だんだんあそぶ時間が減ってきて、権利のようなことを考えることも少なくなっていますが、これからおとなになっていってからは、子どもには権利だったり考える力を身につけられるようになってほしいです。(男子)

・ワークショップを通して「どうやったらうまくできるか」など考えることが大切だとわかりました。また子どもの権利を大切にしておられたのでとてもうれしかったです。(女子)

・子どもの権利条約で僕たちは平和に暮らせていてとても幸せだなと思いました。(男子)

・子どもの権利がどういうものなのか分かりやすいカードになっていてすごかったです。これからも人のことを考え、生活していきたいです。(女子)

・3つのフィルター ①お互い安心できること②他者が納得すること③筋が通っていること この3つを考えながらおとなに権利を主張していきたいと思いました。子どもの権利条約をもっとゆっくり知りたかったです。わがままでなく権利になるような行動をしていきたいです。(男子)

・誰にも権利はある。それを採用されるかは別。改めてこういう権利について話されてよかったなあと思った。子どもの権利条約をもっと実行してほしい。(女子)

・子どもの権利条約があったことは知っていましたが、40条すべてしりませんでした。とても良い機会でした。おとなはもっと権利条約を意識して、一言一言しっかり考えて発言したり、意見をしっかり聞いて、その上での指導を願っています。(男子)

・権利というものは、私たちの身近な場所でも必ずあるのだと知りました。子どもの権利条約について聞いたことはありましたが、40条まであり、ここまで詳しく書かれたものを見たときは驚きました。(男子)

・今日参加して3つのフィルターは大事だなと思いました。あの3つはとても必要です。それに小学生はどうしたらいいかどうのを考えないときがよくありますが、しかし、中学生になっていくと考えていきます。なのでいつかは考えるのです。今日はいろいろ分かることができました。(男子)

・権利について遊びをとおして学べて楽しかったです。絵をかくのはどうしたら相手が安心するのかととても伝えるのが難しかったです。問題を解決するためにどうすればよいかたくさん考えることができました。これからいかにしたいです。北さんおもしろかったです。(女子)

・楽しみながら権利について、学べることができ、良かったです。言われることの一つ一つがとても心に響きました。グループになって活動することが多かったけど、互いに協力しあって、そのグループの皆の意見を聞き、決めることが最後にできてこれが「権利」ということなのかなと思いました。初めはそんなに詳しく知らないことについて、短時間にたくさん学べました。(女子)

・リーダーとして参加しましたが、こんなに人権が深いとは！！と思いました。それに子どもの権利もあるなんて・・・びっくりしました。(男子)

・話だけでなく、あそびを交えて出来たのでより頭に入ってきました。北さんが前にいった学校の話の例もあってわかりやすかったです。(女子)

・権利についてよく知らなかったなので、今回ゲームを通じていろんな考えかが学べたので、今回まなんだことを今日から活かせるよう頑張りたいと思いました。互い安心等のことまずは家で家族と話あいたいとおもいました。

(女子)

・子どもにはたくさんの権利があることを知ったし、ことばって大切だなあと思いました。(女子)

・遊びを通して、権利について学ぶことができたて楽しかったし、よく理解できた。またこのようなワークショップがあれば参加したい。改めてひとり一人の権利の大切さを知った。(男子)

・私も人権学習ということで長々と話でも聞くのかなぁ・・・?とっていましたが、真逆で遊びをしながらその内容とつなげて、人権について学ぶということだったので、話をずっと聞くより頭に入ったと思います。あそびも楽しかったし、実際に動いてやったので「確かにそうだなぁ・・・」とやっていた分かったこともありました。ここで学んだことは今後に本当に役立つと思うし気をつけないと人を傷つけたりするかもしれないので、思い出しながら生活していこうと思います。(女子)

※今年の3校はどこも私たちスタッフにも関わりを閉ざすことなく、一緒に学ぼうとしている生徒さんたちで、私たちは学びがとて多くありました。真摯に向き合う顔と心、ストレートに心に落としかんがえていく様子、学びの深さ、そして伝わる手ごたえ・・・、私たちがこの講座でねらっていたもの以上のことが生徒さんの力で実現していきました。

ワークショップという説明も難しい事業に心よくご賛同いただき、協働していただいた木次・斐川西・大社の各中学校の校長先生、ご担当いただいた先生、ありがとうございます。当日の数々のお心遣い、生徒さんに向き合われる姿も学びとなりました。

おかげさまでよい事業となりました。心より御礼を申し上げます。



椅子取りがどうしてもうまくいかない・・・リーダーの意見に従っていたがとうとう全員で協議、そしてみごと成功する。この協議の場面は見ているスタッフ・先生皆感動するやりとりだった。



圧巻の連続52回の新聞ボールのワーク。でも数ではないんだよ・・・その言葉どおり1回みのペアも「できたー！」という笑顔100%。



絵をことばで伝える・・・たったそれだけのことが難しい。相手も自分も安心してするには、納得して描くには・・・やりとりのなかでそれをみつけていく・・・